

審議会委員のアンケート調査結果について

〈内容〉

1. あなたはどの分野について、人権課題があると感じておられますか。（複数回答可）
2. その人権は、どのような形が望ましいと考えておられますか。
3. その人権課題を解決するためには、どのような施策が必要であると思いますか。

〈集計結果〉

●子どもの人権

1. どの分野に人権課題があるか	2. 望ましい形	3. 必要な施策
子どもの人権	子どもは親を選べないとよく言われている。親の虐待や放任により、その子どもの人生が変わります。でも生きていくのに精いっぱい親も多く、貧困や精神的な苦悩の中で子育てするのも現社会では大変なことも理解できる。金銭的な援助や補助だけでは解決につながらず、安易に行政に頼るのではなく、親になる自覚をしっかりと持たせることが、大事と思う。	専門知識を持つ人や寄り添える人を増やす。 青少年の育成
子どもの貧困問題	市民が子どもの貧困について橋本市の現状を学び理解し、押しつけがましくない支えあいができる。	
子どもの人権 虐待、支配や過干渉	どの子も、家庭でも学校でも地域でも年齢や状況に応じた自己決定権と健やかに育つ権利が保障される。	児童相談所の職員を増やす。 保育所の拡充。0歳児から保育料無償化。
子どもを産み育てる世代について 母子推進員の活動の質を上げたい。そして保ちたい。子どもが産まれる地域に偏りがあるため、2年経った今でも赤ちゃん訪問未経験者がいる状態。（委員が育つ場がない）	母子推進員の選任の仕方の見直し、活動の仕方を地域から広域にして委員を育てる。必要であれば、委員数の削減。	
小中学生について 最近では学力ばかりで一般常識のない小中学生がよく目につく。登校中に自転車で突っ込んだり、人の嫌がることをわざとしたり、大人や先生の気づかないところで悪さをする子どもが増えたように思う。将来が心配（人間性を育てる必要がある）	親世代に勉強だけでは世渡りできないことを知らしめる。（人間性を育てる必要があることを知らしめる） 昔の良かったことを復活させる（近所の子どもが悪さしていたら、近所のおっちゃん、おばちゃんが注意してくれるとか）	

<p>子どもの人権</p>	<p>少子化の地代をむかえ、尚一層、家庭・地域・学校で子どもは地域の宝としてのびのびと生活し、安心して過ごせる、子どもの命を大切にする社会。</p>	<p>以前から子ども会活動が停滞している状態なので、子ども会の充実。子どもたちに昔の遊び、編み物等、年寄も参加できて、一緒に遊べる地域づくり。</p>
<p>専門的にも子どもの人権に関心があります。子どもが育っていく環境をきちんと保証することが大切ですが、虐待、子どものしつけと称した不適当なかかわりはもとより、さまざまな場面で子どもの人権が脅かされている現状を憂いております。</p>	<p>子どもを中心に子どものために何が必要で、何が人権侵害かを高い意識で確認すること。</p>	<p>子どもの人権保護のための統一的組織が必要です。学校、児童相談所、市役所の各部署が連携せず、それぞれに施策、対策しても効果は期待できない。</p>

●高齢者の人権

<p>高齢者の人権</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者が働きやすい環境 ・ 高齢者が健康を維持できる環境 ・ 高齢者と子ども（家族）が明るく生活できる環境 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国・市等が企業とも働きかけ、年齢のみで高齢者を判断しない。 ・ 高齢者が積極的に外に出られる体制を作る。 ・ 親の介護については子としてそれが義務だという教育を子どものころからしていく。
<p>高齢者障がい者の人権</p>	<p>ひきこもりの子どもを抱えている高齢者の孤立感や不安も大きいと思う。それをなかなか外には出せないでいるためにその実態を把握し、支援する窓口が必要。</p>	<p>支援する窓口</p>
<p>高齢者の人権</p>	<p>高度経済成長を支えてきた高齢者は核家族化で1人暮らし、老夫婦だけの家庭が多く、先行き不安な状態。地域で見守り、助け合うまちの構築</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生活のできる年金の保障。 ・ 老人から老人を大切にしましょうとは言にくい。若年層への啓発、助け合いの心を育てる取組。
<p>高齢者の人権（虐待件数が2019年過去最高となっていることから。）</p>	<p>高齢になっても、どう生きてどう死ぬか、自分の今と未来の決定権を奪われないように。</p>	<p>リビングウィル法制化。</p>
<p>寝たきり高齢者の人権について 寝たきりの高齢者のほとんどが誤嚥性肺炎のリスク（飲み込みが難しい、誤嚥する）があるため、施設の受け入れ先を探すのが難しい。胃ろう、腸ろうにすると受け入れベッド数が少ないため施設探しに苦労した。介護する側、される側のニーズに全くあっていない。いつも対応が後手後手。</p>	<p>介護される側がどのように介護されたいか。胃ろう、腸ろうにしないで口から食事をとり続けられる介護ができる施設、それに特化した施設を作る、増やす。介護する側の声をもっとよく聴いてニーズに応える。嚥下機能を低下させないための運動を指導するST（リハビリ）を増やす。</p>	<p>介護職員の給料アップを検討。介護職員の育成（人間の育成）。嚥下機能を低下させないための運動を指導するSTの育成。特化した施設を作り、育てる。</p>

●インターネットによる人権侵害

<p>ネット社会の到来により、それぞれの人権が簡単に脅かされる状況も憂慮しています。</p>	<p>ネットは発信、受信、双方向でやり取りできるのに、同じ場所にお互い立っていないというコミュニケーションの問題として、一番問題です。改めてリアルな場面でのコミュニケーション力の育成を大切にすべき。</p>	<p>ネットの管理、ルール作りとともに、リアルなコミュニケーション力をつけるための啓蒙、研修が必要。統一組織化できるといいと思います。</p>
<p>中高生のラインによるいじめ。ネットに中傷や批判など。</p>	<p>スマホ、パソコン、インターネットを使うにあたり、良い面と悪い面、両方とも正しく理解する。自分で考えて使えるような社会づくり。</p>	<p>回答した課題の全てに言えることだが、勝手なイメージや思い込みではなく、正しい知識として理解ができる年齢になれば、学び、間違った知識を払しょくすることが必要ではないか。大人が何気なく言った一言が思い込みとなり、いじめや社会問題とならないように、自分で考え、判断できる知識をつけられるように市民で学びあい、支えあう。施策とは少し違うかもしれませんが。</p>
<p>インターネットによる人権侵害</p>	<p>SNS利用者が増加している。SNSで誘われ、犯罪に巻き込まれる。性的被害にあう。SNSを使ったセクハラ、パワハラもある。</p>	

●性的少数者

<p>LGBT等々の性的少数者が周囲から差別的扱いを受けている。</p>	<p>性の多様性について理解し、認め合う。偏見や差別をなくし、一人一人が尊重される社会。</p>	<p>性の多様性を認め合い、偏見や差別を解消できるよう、啓発に取り組む。</p>
<p>LGBT (LGBTQなど)</p>	<p>少しずつ浸透はしてきているが、情報も少なければ、イメージやテレビの印象が強いと思う。なので、例えば「同性愛者」だと言われたら、それを聞いた側も偏見なく受け取れるのが当たり前になる社会。</p>	
<p>LGBTについて (実際どのぐらいの割合でLGBTの人、子どもがいるかわからないが、受け入れる準備をする必要はある。)</p>	<p>兵庫県のある中学校では、LGBTの子どもたちのために、女子のセーラー服を廃止し、学校の制服をパンツ、キュロット、スカート等の種類を作り、その中で好きな制服を着て、登校できるように整備した事例がある。</p>	<p>橋本市でもモデル校をつくってはどうか？</p>

●女性の人権

<p>女性の人権 (家庭・職場・地域において固定的性別役割、分担意識がある。DV被害者、セクシャルハラスメント、配偶者からの暴力、ストーカー等の対策。)</p>	<p>男女とも仕事、育児、介護の両立ができる。働き方を選べる。ワークライフバランスの推進。固定的性別役割分担意識の解消。DV被害防止対策強化。性別に関係なく個人として尊重される社会。</p>	<p>性別に関係なく個人として尊重しあえるように啓発する。配偶者暴力防止法、ストーカー規制法もできているので、市でも配偶者暴力支援センターを核に警察等の機関と連携し、防止・相談・一時保護・自立支援まで行う。</p>
--	---	---

女性の人権（2019年国別男女平等度ランキングで日本が過去最低の121位にランクダウンした。）	家庭内の男女平等。 社会での男女平等。	クオータ制を民間企業にも。
---	------------------------	---------------

● 部落差別

部落差別	長い歴史の中で、心ない差別に苦しんできた部落の人たちは、差別解消を願い過ぎてきました。一人一人が差別をしない、許さない社会の構築。	差別者には、指導、命令、氏名公表する。反省なき場合は罰則を設ける条例を作ってもよい。
------	---	--

● 犯罪被害者の人権と刑を終えた人の人権

犯罪被害者の人権 刑を終えた人の人権	被害者がいる場合は、まず被害者の人権が第一と思うが、薬物依存の場合、法を犯したとは言え、本人も被害者であると思う。社会復帰は難しく住居さえ確保できないケースもあり、再犯をおこしやすい。社会の理解が必要。	就労支援などの啓発。
-----------------------	---	------------

● 災害に伴う人権

災害に伴う人権問題（福島原発事故の、風評被害で偏見、差別があった。）	被災者の現状を正しく理解し、偏見、差別をなくす。	被災者の現状を正しく伝え、理解を深めるよう啓発する。
------------------------------------	--------------------------	----------------------------